



埼玉版は、名物の「草加せんべい」をかたどったユニークなデザイン。上記は原寸の50%で、実物はこの倍のサイズとなる大型のポストカード。

カラートピック

全国都道府県お国自慢！

ご当地フォルムカード

昨年9月から発売され、巷でブームを呼んでいる「ご当地フォルムカード」をご存じでしょうか。同カードは、各都道府県を代表する食べ物や名所などをデザインしたもので、現在48種類(47都道府県各1種+山梨・静岡版「富士山」1種/売価180円)を発売。デザインのユニークさに加え、その地域の郵便局(簡易局を除く)のみでの限定発売というプレミア感もあり、収集家だけではなく、一般の方を含めて注目を浴びています。

またデザインに合わせた風景印を組み合わせる(下記参照)など、さまざまな楽しみ方も。旅行などに行かれた際には、ぜひ郵便局のぞいてみてはいかがでしょうか。(編)

■ご当地フォルムカード：大型のポストカードで、横タイプ(平均サイズ横170×縦133ミリ)と縦タイプ(平均サイズ横100×縦170ミリ)がある。料額印面はなく、差し出す際には120円分の切手を貼付する。



東京版「雷門」に、雷門局の風景印(雷門を描いたちゅうぢん型)を押印した例。カード表面下部には、「都庁所在地」、「人口」、「面積」、「都のシンボル」、「主な名所・旧跡」などのデータが印刷されている。



※いずれも発売は、該当都道府県の郵便局(簡易局を除く)のみ。また誌面ではわかりづらいが、各カードの周囲には左「草加せんべい」と同様、原則余白がある。